京城日報 夕刊 十二月二十七日（日） 京城府太平通一丁目 發行所 京城日報社

カーバイト 機械油 京城南大門通三丁目 川勝京城支店

院內の諸機關 野黨の獨占に歸す
皇軍への感謝決議案可決
廿七日の衆議院本會議

【東京電話】衆議院本會議は二十七日午前十時半開會、劈頭陸海軍將士に對する感謝決議文を滿場一致可決、我が權益擁護のため酷寒の滿洲に奮戰しつゝある將士に對し國民總意を代表して深き感謝を捧げた、此の日全院委員長、常任委員の選擧を行つたが野黨は各委員長を獨占して絕對多數の威力を發揮し、之を以て院內諸機關は擧げて野黨の占むる處となり政府野黨は愈々鋭い對立を見せつつ休會明けを待つこととなり、休會明け劈頭の解散は最早や必至のこととなつた、午前十時二十分振鈴と共に議員着席、又犬養首相、大角海相、荒木陸相、前田鐵相、永井拓相の各閣僚も本會議に於て初めて大臣席に着く、午前十時卅五分中村議長開會を宣し起立して總員起立の裡に勅語を奉讀す、次いで一松定吉氏の動議に依り議事日程を變更、小山松壽氏外四十二名提出の陸海軍將士に對する感謝決議案を上程

小山松壽氏 簡單の辯明 野に戰つてゐる我が忠勇なる將士に對し國民の意思を代表して感謝の意思を表明したい、これは我が全國民の切なる要望である

大角海相 滿場一致を以て可決された決議に對しては感謝の外ありません、直ちに全軍に傳達致します

荒木陸相 我が陸軍は海ゆかばみづく屍の心を以て命を國家に捧げて我が生命線擁護に奮戰してゐます、然るに此の決議に對しては將士も感泣するでありませう、自分も今後奮闘之れ努め御期待に背かないことを期する覺悟である

と感激して決議文を謝し各閣僚退出す、次いで全院委員長の選擧に入り投票の結果

投票數三六二票 鵜澤宇八（民）二二九票 土井權大（政）一四一票 外大竹貫一、太田信治郎各一票

鵜澤氏絕對多數で全院委員長に當選午前十一時二十五分休憩

再開後

【東京電話】衆議院本會議は午後一時五分再開、增田副議長議長席に着き休憩中に行はれた常任委員選擧の結果を報告したる後

增田副議長 本會議は火、木、土とする、委員會日は月、水、金とすること、質問日は火曜日とすることに異議ありませんか（と諮り之を可決、更に增田氏より）明二十八日より明年一月二十日まで休會する旨を述べ、午後一時十三分散會を宣し院內に於ける政戰は一先づ幕を閉ぢた

貴族院本會議

【東京電報】貴族院本會議は二十七日午前九時十分開會、德川議長登壇開院奉答文を朗讀し全員起立して可決し、次いで日程の全院委員長選擧に入る、この時德川議長は奉答文捧呈のため參內につき近衞文麿公副議長席につき投票の結果總投票數一九五票

松平賴壽伯 一八九票
細川護立侯 一票
蜂須賀正韶侯 一票
柳澤保惠伯 一票
本田千代吉 一票
無効 一票

で松平伯當選、次いで各部に於て常任委員選擧を行ふため九時三十五分休憩に入る、午前十時四十九分再開、德川議長登壇奉答文に對し優渥なる勅語を賜りましたと述べ全院起立裡に優渥の勅語を捧讀す、同五十五分犬養首相、大角海相、荒木陸相、永井拓相、三土遞相等はじめて大臣席に姿を現はし諸般の報告後休憩中選擧を行つた各常任委員の氏名を報告、次いで會議に入り一條實孝公の動議により日程を變更し滿洲派遣軍に對する感謝決議案を上程し全院起立して可決す、此の時大角海相は發言を求め海軍を代表して感謝の意を表し、次いで荒木陸相も起立同樣感謝の意を表す 次いで

德川議長 本院は突發的事情の起らぬ限り一月廿日まで休會致し度いと思ひます

と述べ滿場異議なく可決、斯くて十一時十四分散會

貴族院の感謝決議案

【東京電報】貴族院の陸海軍將士に對する感謝決議左の如し

決議案

滿洲事變勃發以來我が帝國陸海軍は勇敢善闘支那兵の暴虐を膺懲してこれが掃蕩の功を奏し、今また極寒風雪の中に艱苦行動してよく我が同胞の生命財產保護、我が權益の擁護とに任ぜり 貴族院は忠勇なる陸海軍將士の功勞に對し深く感謝の誠意を表す

衆議院の感謝決議案

【東京電報】衆議員各派交涉會は廿七日午前九時開會、陸海軍將士に對する感謝決議案上提に關し協議の結果、本日本會議の日程を變更し開會劈頭左の決議案を上提し滿場一致可決することに決定して散會

決議案

我陸海軍は近時頻發する滿洲北支方面の擾亂を掃蕩し、以て帝國の權益を保全し居留人民の擁護に盡瘁す、是れ國民の感激措く能はざる所なり、時寒に際し將士の勞苦更に大なるものあり、衆議院は茲に院議を以て感謝の誠意を表す

右決議す

奉答文を御嘉納
優渥なる勅語を賜ふ

【東京電報】德川、中村兩院議長は二十七日午前九時五十分參內、西溜の間に休憩の後正十時侍從の誘導により鳳凰の間に進み天皇陛下に拜謁仰付られうやうやしく廿六日開院式に賜はつた勅語に對する奉答文を捧呈したるに陛下には御嘉納あらせられ左の優渥なる勅語を賜ひ入御遊ばされた

勅語

貴族院ノ忠實ナル敬意ヲ嘉ス

勅語

衆議院ノ深厚ナル敬意ヲ嘉ス

貴族院奉答文

【東京電報】貴族院奉答文左の如し

奉答文

貴族院議長公爵德川家達謹ミテ叡聖文武天皇陛下ニ上奏ス 茲ニ第六十回帝國議會開院ノ盛典ヲ行ハセラレ優渥ナル勅語ヲ賜フ 臣等恭シク聖旨ヲ奉體シ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ期ス 臣家達誠惶誠恐謹ミテ奏ス

安達氏への同情
復黨の機運高まる
九州團體も盡力申合せ

【東京電報】安達氏は民政黨を去つて以來極めて自重してゐるので黨內に於ても安達氏に對する同情漸く濃厚となり復黨の機運醸成されんとしてゐる、卽ち九州團體は過日の會合で復黨につき盡力を申合せたが、之に基き時に山本實彥、淺那邇利、佐々木秀照の諸氏は廿六日網會報告後院內で賴母木總務と會見安達氏の復黨を希望する旨あり、之に對し賴母木總務も自分としても深く考慮してゐる、黨の情勢に鑑み卽答は出來ぬが廿八日頃までには何とか返事が出來ると答へた尙淺那氏は本部で永井氏と會見同樣希望を述べた

民政黨幹部會 來る二十八日

【東京電報】民政黨では廿八日幹部會を開き解散を見越して選擧對策を協議する筈なるが、尙安達氏の復黨問題についても意見交換を爲す筈である

芳澤大使歸國

【巴里廿六日發電】芳澤大使は外相就任の爲め歸朝を命ぜられたが廿七日午後一時廿分巴里發歸國する

佛國政府から 勳章を授與

【パリ廿六日發電】フランス政府は廿七日午後一時パリ發歸國の途につく芳澤大使に對し同大使の聯盟理事會としての世界平和の爲めの貢獻的活動を顯彰する爲め廿六日レジョン・ドノール大綬勳章を授與された

全體會議、今や暗礁に乘上ぐ
錦州問題て 兩派の意見分る

【南京廿六日發電】全體會議は今や重大なる暗礁に乘り上げた、其の原因は錦州問題に關し南京廣東兩派の意見の相違に依るものである、卽ち廣東派は飽くまで錦州死守を主張すると共に蔣介石も速かに北上對日戰爭に當るべし、之れがため場合に依つては閻錫山の提議を容れ山西軍をして北支を守らせ東北軍や中央軍を關外に出し時、張をして之を指揮せしめよと主張したるに、南京派は右は蔣、張追出し策なりと大反對せるためなり

學良の免職も
統一の爲已むを得ぬ
全體會議の意見有力

【南京廿六日發電】張學良問題に關し全體會議は本日秘密會議を開き協議の結果全國統一の目的はあくまで果さねばならぬから學良の免職もやむを得ぬとの意見が勝を占め蔣、汪兩氏の來京を求むることとなつた、これがため會期を延長することに決し首腦各院長及部長等の選定は來月曜日に持越されることとなつた

馮玉祥津浦線で南下

【北平廿七日發電】馮玉祥は南京の全體會議に赴くべく太原より平漢線で北平經由天津に出で南下した、時に石友三の殘部兵の武器を避け安全な天津廻りをした處に彼の用心深さが窺はれる

關東長官 後任詮衡
山岡氏か 長岡氏か

【東京電報】秦拓相は二十六日午後八時半官邸に犬養首相を訪問し關東長官後任につき協議したが、後任は年內に決定したい考へであるため二十七日閣議前犬養首相を訪問協議の上後任が決定すれば同日の閣議で正式決定したい方針である、後任としては山岡萬之助、長岡隆一郎兩氏が擧げられてゐるが山岡氏が有力である

明年度の豫算案
總額十三億九千餘萬圓
前內閣時代より約一億圓減

【東京電報】政府は立ちおくれの明年度豫算案を至急取りまとめ廿七日の閣議に暫定的ながら明年度豫算案の決定を求むる事になつたが、豫算總額は前內閣時代の概算十四億八千萬圓から失業救濟事業四千百萬圓、樺太鐵豫算一千五百萬圓、減債基金繰入れ三千萬圓を削減する事となつた爲め歲出總額十三億九千萬圓臺に減ずる事となつた

預金部資金
一億數千萬圓貸出
放漫政策の片鱗

【東京電報】大藏省では廿六日現內閣成立以來第一回目の預金部運用委員會で貸出しに決した約九千萬圓と、前內閣時代の預金部運用委員會で貸出しに決定したが實行するに至らなかつた數千萬圓を加へて計一億數千萬圓をこの年末に金額貸出し實行することに方針を決定した右は從來の預金部貸金貸出し內規に一新紀元を劃するもので現內閣の放漫政策の片鱗を示したものだといはれてゐる

民政黨の 海軍慰問使 長崎丸で渡支

【東京電報】民政黨の支那派遣慰問使國權軍の慰問使杉田哉一郎、高橋壽太郎の二氏は廿七日午後九時二十五分西下し廿八日神戶出帆の長崎丸で渡支の豫定である

滿鐵線と日本軍
積極的攪亂を命令
榮臻、黃顯聲連名で

【奉天廿七日發零時三十二分發至急報】榮臻は昨日北平より錦州に歸來する黃顯聲と連名で各地の義勇隊及別働隊に對し廿八日以後一齊に滿鐵線及日本軍守備地帶を積極的に攪亂する樣命令を下した

匪賊討伐のために
師團司令部を○○方面に

【奉天廿七日午後零時十六分發至急報】遼西匪賊討伐の目的を以て多門師團長は本日午前十一時五十分瀋陽發軍用列車にて師團司令部を○○方面に進めた

共產軍優勢
討伐軍擊退され
武漢脅威を受く

【漢口廿六日發電】湖北省黃安で共產軍に包圍された中央軍第三十一師張印相は決死的戰鬪に依り活路を見出し、二十四日夜全軍城外に突出したが共產軍の手に擊退され師長以下各旅長も殆ど全部戰死し、同黃安城は共產軍の手に落ちて共產軍の勢力は直接武漢に迫らんとするに至つた、又天門でも討伐軍は共產軍の包圍を受け大苦戰を續けてゐる等共產軍の勢力優勢である

荒木陸相西下 新任報告の爲

【東京電報】荒木陸相は陸相新任報告の爲め廿八日午後十時十五分東京驛發西下の豫定である

永井次官から 帝國政府の回答
三大使を招き手交

【東京電報】永井外務次官は二十七日午前十一時英米佛三大使を招き勸告に對する帝國政府の回答聲明書を手交した

京日春秋

□林總領事も愈よ奉天を引拂つた、幣原前外相の股肱をうかとひたら、柳川鎬に立て通つた劇のやうな態度で進退して來た同君が城明け渡しの余儀なきに至つたのは當然の歸結だ、あり體にいふと、實は九月下旬に更迭して然るべきであつたのだ、水と油を何時までも一緒にして置くのは不自然之に過ぎたものはない、それならそれ程林總領事が缺陷なのかといふに、必ずしも林君自身が缺陷であるとは斷言出來ぬが、眇くも張學良の再起を希ひ、奉天陷落を悲んだ一人であることだけは斷言が出來る、是だけ打明けたら、同君の奉天引上げは滿蒙新對策の上から見ても當然であるに相違ない。

□門口で怪漢が邸內をのぞいてゐる、時刻は晩景である、彼は鐵砲を擔いでゐる、石油罐をぶらさげてゐる、然るに、路傍の彌次馬が不安を抱いて警戒してゐる家人に向つて、怪漢は紳士だ、どうか其のまゝにして置いて出來たら寛大にして貰ひたいといふのが所謂三國の勸告だ、こんな時には腰の曲つた火の番の老爺でも捨てては置くまい、勸告は家風に適はぬからと一蹴したがいい、こんな勸告にこだはつてゐたのでは、折角、腰を切つた政友會にせよ、犬養君にせよ、二の足を踏むに決つてゐる。錦州は近內である。

□解散議會と相場は決つてゐる、騒ぐには及ぶまい、政友會としては總選擧の仕度が必要だ、多少餘裕のあつた方がいゝ、政黨としては早い方がいゝ、遲い方がいゝといつても、半年も一年も後になると政友會にぶが悪い、昨今キヤキヤと來てゐる好景氣の卵は、半年もすると恐らくその殼を脱するに相違ない、算盤をハジクお方達としたつて七年度の下半期は警戒ものに相違ない、萬一の其のまた萬々が一、解散が一時お流れになつたとしたら政友會は好機を逸するものだ、此の意味では、野黨としては早い方がいい、政友會としては遲い方がいゝ、聊か混線の形だが選運云々も程度問題といふ結論になる、チヤンスは双方にある。

林軍司令官
平壤の射擊場を視察

【平壤特電】林朝鮮軍司令官は中山參謀長を從へ廿六日午後二時平壤驛着列車で來壤、平壤衞戍病院に戰傷兵を見舞ひ、終つて大同郡古平面の射擊場新設敷地を視察、鐵道ホテルに一泊、廿七日午前八時廿分平壤發列車で京城へ歸つたが、同射擊場新設は平壤へ師團を迎へる前提であらうと傳へらる。因みに同射擊場は九十萬坪の大射擊場である

東北政務委員會 第一次會議

【北平廿六日發電】北方政治の實權を持つ東北政務委員會は早くも二十六日午後第一次會議を開き當面の諸問題を討議した、學良の本土乘り出しは此の會議で確實化して來た

生駒管理局長 間島へ廻る

滿洲視察中の拓務省管理局長生駒高常氏は吉林より間島方面へ廻り隨行員のみ廿七日朝九時四十分着列車（延着して午前十時卅分着）で入城朝鮮ホテルに投宿して生駒局長を待合せることゝなつた

○○に待機中の我軍 —○砲兵聯隊の整列—

李王職員辭令

李王職々員の叙任陞等、李王職々員中去る廿一日附を以て左の通り叙任陞等があつた

陞敍高等官三等 正八位 岡本陽七
任李王職典祀 敍高等官五等 七位勳六等 三原英彥
敍判任官七等 李王職典祀 末松多美彥
陞敍高等官二等 李王職事務官 林健太郎
陞敍高等官五等 同 佐藤 [illegible]
賜四級俸 李王職典祀 高階 [illegible]
賜七級俸 同 李王職典祀 林 [illegible]
同 李王職事務官 李 [illegible]
賜九級俸 李王職御用掛 正八位 岡本 [illegible]

釜山府會

【釜山】釜山府會は廿六日午後一時より府會議事堂に開會 [illegible] ▲第十五號議案 昭和六年度 [illegible] 追加更正の件 ▲第十六號議案 [illegible] 府營市場新設の件 [illegible]

池田本社長 廿八日朝歸社

[illegible] 廿八日朝京城驛着列車にて歸社

京城新聞移轉

京城新聞社事務所及び專務社長宅は今回府內吉市町十九番地に移轉した

人

◇鈴木秀四郎（滿洲商大教授）廿七日午前十時京城通過名古屋へ

あすの天氣（78）

低氣壓は上海附近と黃海の沖にありて、半島の氣壓配置は不安定であり、高氣壓は滿洲北部から北鮮に擴つて全鮮一般に曇つてゐる、氣溫は昨朝より上昇し外 [illegible] くなつた

京城 雪後晴 昨日最高 [illegible] 最低 [illegible]

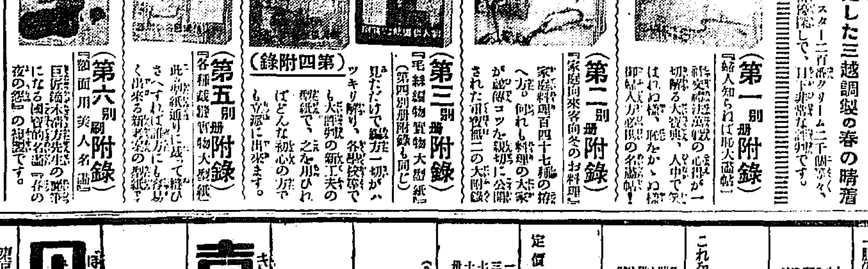
「茂平次兇狀」 本日休載

婦人俱樂部
新年號の大奮發!!
二大懸賞つき!
六大附錄つき!
偉い評判です!
賣切れにならぬ中ぜひお早く!!

讀書界空前の大計畫!
十万円大懸賞
當選者十萬人!
賞品總數十萬點!!
（賞品の一部）
▲ナポレオン六十號蓄音器（五十台）▲イーストポータブル蓄音器（五十台）▲ポリドールポータブル蓄音器（五十台）▲高級パイプ [illegible] ▲十八金尖賞腕時計（壹百個）▲富士子供自轉車（五百個）▲資生堂銀座化粧料詰合（五百個）▲最上カニ罐詰三ケ一組（千五百個）▲ポケットコダック寫眞機（五十個）▲河合オルガン（五十台）▲ブドー印セル地（壹百反）▲キング映寫機（壹百台）▲伊勢崎銘仙（壹千反）▲電氣玩具（武百組）▲クラブ化粧料詰合（五百個）▲ラブミー化粧料詰合（四百個）▲レート化粧料詰合（五百個）▲ウテナ化粧料詰合（四百個）▲美顏化粧料詰合（五百個）▲高級ハーモニカ（壹千個）

珍らしい大懸賞!
春の晴着進呈
東都代表六美人の選定した三越調製の春の晴着

更にこの素晴しい破天荒の六大附錄を御覽
（第一別冊附錄）『婦人知らねば恥大畫帖』
（第二別冊附錄）『家庭向來客向冬のお料理』
（第三別冊附錄）『毛絲編物實物大型紙』
（第四附錄）
（第五別冊附錄）『各種裁縫實物大型紙』
（第六別刷附錄）『額面用美人名畫』



▲大特價八十錢（六大附錄つき 送料七錢五厘）
▲全國到る處の書店で目下發賣中
▲東京本郷 大日本雄辯會講談社發行

產前 產後 血の道
眞の婦人藥
喜谷實母散
東京・京橋一丁目 本舖 喜谷市郎右衞門商店

安奉沿線の邦人 續々として避難す

五龍背方面へ兵匪襲來との計畫にわが軍憲警戒を加ふ

【安東縣特電】高麗門附近の約四百名の兵匪と湯山城の四十名の兵匪は二十六日五龍背と蛤蟆塘の襲撃を企てつゝある模様で、我が軍隊警察、在郷軍人は嚴戒中である、なほ午後八時二十分安東着鳳凰城發の臨時列車で同沿線邦人避難民四十五名到着、引續いて沿線各地より續々安東に引揚げつゝある

安奉線林家臺にけさ匪賊襲來す

電信線を切斷し驛を猛撃す　わが自衛團の防戰で撃退

【安東縣特電】二十七日午前六時十五分安奉線林家臺驛を去る五十米の高粱畑へ賊の一團逆襲し電線二本を切斷して驛に向つて猛撃したので同地自衛團、警察隊はこれを防戰し撃退した、これが爲め驛の硝子窓は多數破壞した

襲來に先立ち密偵を放つ　嚴戒に氣づいて逃ぐ

【安東縣特電】林下[illegible]の事あるもまだ詳細なく廿六日午後十一時頃安東縣五道溝水源池に立番中の在郷軍人北[illegible]一名は敵の便衣隊らしき怪しき支那人三名を發見誰何したところ逃走した

【安東縣特電】二十六日夜賊は蛤蟆塘、五龍背、高麗門を襲ふとの情報に依つて安東署より[illegible]部[illegible]下二十名は蛤蟆塘に急行警戒に任じたが、賊は我[illegible]三十名がこれを知つて北方に退却したので十二時引き上げた

匪賊の再襲來なし

【安東縣特電】高麗門を再襲撃の情報によりて五龍背及び鳳凰城より軍警急行警戒に任じたが二十七日朝までは再襲せず五龍背は無事である

排日の支那囚人 十一名を奪還す

鳳凰城襲撃の匪賊が

【安東縣特電】鳳凰城の匪賊は同縣の監獄へ[illegible]同四人十一名を脱出せしめたが右で監禁中の排日支那人十一名を奪還した、なほ南八號列車(奉天發安東行)は一時間遅れて十時安東に着した

新民府の馬賊團 奉天襲來の形勢

目下内山小隊追撃中

【新民府廿六日發電】馬賊に襲せられた新民府の安隊一千名は[illegible]方面より[illegible]の匪賊と[illegible]し新民府東北方面より遼河を越ゆ奉天に向つて襲來する形勢にあり、我が内山少尉の○○少隊は前門[illegible]の方面に[illegible]と合し目下匪賊を追撃中である

南台驛も 匪賊に襲はる

我守備隊撃退す

【奉天廿六日發電】昨夜[illegible]南台驛に約二百五十名の匪賊襲來南方を襲撃したので同地[illegible]邦人は[illegible]同地より[illegible]中、我守備隊に於て[illegible]後撃退したるも[illegible]南台附近は依然不安狀態である

危險區域は 消燈して通る

物騷千萬な安奉線より最初の列車到着す

安奉線[illegible]して最初の列車である二十七日朝の第八列車に定時より五十分遅れて午前十時三十分京城驛に到着したが、安奉線方面の狀況について同列車の車掌は語る

一昨日夜本[illegible]で[illegible]通過して帰りましたが、あの事故で、この列車が復出してから最初の列車です、安東驛は全くごった返してゐます、警備は十分にしてをりますが、匪賊はあちらこちらへ現はれるので手のつけやうがありません、あの日に奉安東へついた姫路部隊は安東で出發の豫定だつたところが着くや否やあの事件で直ぐに出動です、休む間も何もあつたものぢやありません、また同列車が通過した鳳凰城、[illegible]南台驛は通過した時は大[illegible]に[illegible]も復出した後で格別危險なこともなかつたが、列車は危險區域を通過する時は窓をしめて灯を消して通つてゐました

白鷺城部隊 昨夕奉天着

【奉天廿六日發電】滿洲に派遣された姫路師團步兵[illegible]隊は廿六日午後[illegible]時[illegible]分奉天に到着した。

内地派遣部隊 大連に上陸

【大連廿六日發電】姫路部隊[illegible]

我軍の原駐地撤退をはかる

英公使頻りに策動

【天津廿六日發電】英公使ランプソン氏は南京より北平に歸つて以來張學良の尻押しをしてゐるらしく張學良の日本對抗意志を强固にせしめ、傍ら錦州方面に於て日本軍が主張してゐる別働隊なるものは全く認めずとなし、更に北平からソーソヒル武官、天津から英總領事ガイル兩氏を錦州方面に出張せしめ同方面の支那當局と聯絡を[illegible]

【[illegible]】[illegible]の汽船[illegible]丸は本日午前二時大連に入港、[illegible]隊は午前八時上陸を開始し又小倉部隊乘船東奉丸は今拂曉入港同部隊は午前九時上陸した

チ、ハル政權 不安に陷る

【チチハル廿六日發電】錦木○○旅團主力及び飛行機○○臺はいよいよ近く南下する模様だが、兵匪便衣隊盛んに横行しつゝあるのでチチハル政權は不安に陷つてゐる

長嶺子附近に兵匪現はる

【奉天廿六日發電】奉天の西北方二十五キロの板橋子北方八キロの長嶺子、馬家屯に八百名の兵匪あり廿五日來南下中

學生團多數 錦州に集る

青年義勇軍を編成し一部は白旗堡に來着

【奉天廿六日發電】最近關内より學生團多數錦州に來り既に到着せるものは遼濟義勇軍、上海青年團、濟南學生團等七ケ團體で、彼等は最も過激なる分子より成り總數二千四百余名、目下袁義指揮の下に青年義勇軍を編成中なるが右學生隊の一部は白旗堡に來着してゐる

學良、各軍に 錦州增援を命ず

飛行機四臺も出動準備

【天津廿六日發電】張學良は天津の楊柳青に在る獨立二十九旅と灤縣に在る砲兵六旅及び平漢線方面の十八旅に對し錦州增援を命ずる一方英[illegible]の調を容れて北平に在る飛行機四臺に出動準備を命じた計らしめてゐる、又來春米支する國際聯盟調査員の到着を俟つて日本軍の原駐地撤退を實現せしめんとする計畫があると

重要會議を開き 學良肚を決める

今後の對策の有力意見

【奉天廿六日發電】北平よりの確報に依れば學良は最近重要會議を開き今後の對策を協議したが席上左の意見が有力に主張されたと

一、天津地方を棄てざるべからざるに至らば砲兵山西[illegible]を攻略して西北を根據とすべし

二、湯玉麟を驅逐して熱河に退却すべし

三、軍隊は赤峰に與へ學良は下野すべし

國力を伸張すべく 暗に蔣、張を援助す

北支に於る列國の活動

【天津廿六日發電】列國の北支に於ける活動左の如し

英國　ランプソン公使は蔣張聯繫を固くし蔣の直隷復活を斡旋し錦州軍の潰滅を阻止せんと武官サンヒル領事ガイルを錦州に派遣し日本軍を牽制し且つ馬賊土匪跳梁することなしと逆宣傳を行ひロイテル通信を故意に學良援助を露骨に示すと共に學良と廿萬の野方面との團結を圖り張の地位確保を圖らんとし聯盟調査員來着を俟ち日本を押へんとす

米國　英國に調子を合せ西國擁護に專念す

獨逸　中央軍に顧問百名余を送り北平陸軍大學教官をも提供すると爲し獨逸新聞は蔣張を援助す

佛國　東灤米難民收容と稱し佛租界隣接地十萬坪を巧妙に手に入れ租界擴張の宿望を遂ぐ

教育界の元老 赤木氏逝く

前京京師範學校長赤木萬二郎氏は[illegible]かねて胃腸を患ひ東京帝大病院に入院治療中、一時回復退院、自宅にて療養中突然病改まり東京市外上石神井[illegible]の自宅にて二十六日午前四時死去した、享年[illegible]東京高師卒業生倶樂部前會員にて氏の先輩、友人、永年の門弟等相集まり盛大に葬行さるなほ赤木氏は大正[illegible]年[illegible]中學校長として來鮮し同十年京師校長となり本府視學官も兼任し、十數年間半島教育界の元老として功勞は頗る多かつた

年の餅と 年末贈答品 大和軒

醫學生の 自殺未遂

過度の勉强から

過度の勉學から遂に神經衰弱に陷り、來るべき春をまたず前途を悲觀し自ら生命を絶たんとした一學生がある——廿六日午後九時半頃府内本町四丁目下宿屋大和館に止宿中の徳島縣生れ醫專門學校三年生川村英雄(二)は二階の自室で何を考へてか突如机の中からメスをとり出し己が左乳下をザクット一突きに刺し苦しさのあまり室外に出た所を下宿屋の女將に發見されそのまゝ黃金町三丁目本田病院に收容、應急手當を加へた後醫學病院に入院したが出血甚だしく生命危篤である、原因については同人過度の勉學のため神經衰弱におちいり多少精神に異常を呈して居り遂にこの擧に及んだものであるらしい

時の氏神か— 相手を毆殺す

人の喧嘩の仲裁に入り聞き入れぬのを怒つて

新の商賈の仲裁から口論となり果ては大喧嘩と變じて遂に相手の男を毆り殺したといふ事件—京畿道高陽郡崇仁面東[illegible]里三二無職李順道(三)は廿六日午後四時頃、同里三三酒幕[illegible]金[illegible]方前で同里の宋在煥(ニ)が新の商賈で[illegible]と口論してゐる所に來り、李が仲裁せんと兩人の間を割つてはいつてきたが宋は一向に李の言ふことをきかないので李は憤慨し、こゝに李と宋との大喧嘩となり李は附近にあつた直徑八寸の棍棒で宋の頭をぶんなぐつた結果宋はそのまゝ息絶へた、あわてた李は大學病院にかつぎこんだが息かへらず遂に絶命した、これを探知した東大門署では李を傷害致死犯人として本署に連行し廿七日午前十時田中司法主任立會の下に大學病院に宋を解剖に附した

森永ベルベット

釜山の火事 放火の疑ひで家主を取調中

【釜山特電】二十七日午前三時二十分、釜山府南濱通りにあたる大倉町三丁目定[illegible]所有の貸店舗兼商森田[illegible]四郎(三)方より出火し一棟二戶を全燒して五時鎭火、損害四千圓の見込みであるが、出火の場所は森田方にては臺間だけにて夜間は人もなく保險金全部にて八千圓に達し放火の疑ひがあるので家主定[illegible]を留置して目下取調中

無邪氣な少女の 踊りに大喝采

大官夫人にも好評の 滿洲少女の童謡舞踊の夕

我社後援、大連舞踊研究所主催の滿洲少女の童謡舞踊公演第一日目は昨廿六日午後七時から公會堂で開かれた、滿洲事變慰問金募集のためとあつて來會者は一つの椅子も殘さなかつたといふ盛況さである、出し物の童謡舞踊は幼稚せる少女等の可憐な演技によつて幼年時から偉人に親しませる事が一番です。幼年倶樂部新年號には『偉い人の話』といふ有益附錄の外六ツの大附錄つきで非常に得めになります。是非御覽下さい。

お子様方を偉くするには

投身志願者 危く救はる

平北定州生れ[illegible]高陽郡崇仁面[illegible]北里王[illegible]貴(二)は實姉との二人暮しだが、長らくルンペンして生活難に陥り悲觀して二十七日午前二時半頃投身自殺を企て漢江に[illegible]てゐたのを漢江橋派出所員に發見されたので危いところを救はれた

中央館(廿八日から)▲『男の勝利者』▲『傳奇刀葉林』▲『都會病患者』

けふ午後一時 一齊に討伐決行

【安東縣特電】鳳凰城に大隊本部を移し沿線各地の警備にあたりつゝある獨立守備第四大隊長は姫路部隊を加へた部隊を指揮し廿七日午後一時を期して一齊に大討伐を決行すると決定、只今主力部は鳳凰城の本營に向つて出動した

銀盤を飛ぶスケーター

ウインター・スポーツの覇、スケートが全盛期に入つた、洋々たる水面は堅く鎖され銀盤上には老いも若きも男女のスケーターがつばめの様に飛んでゐる〜〜〜漢江も二十六日にはすつかり凍り、昌慶苑の遊池リンクと云はず水のある所は裸つた〜〜〜やりませう氷上カを=寫眞は昌慶苑にて=

月のお料理

家庭に居ながら 料理が覺えられる

正月號出來…直ぐ御入會あれ

宗庭料理講義録は、料理と躾と作法と躾を、誰にも容易に覺えられる様に、各専門大家が、親切に平易に、實に手に取る様に講義し、毎月一冊宛會員に配布してゐる。

▼其内容が如何に完備せるかは、過去二十年の經驗を積み、五萬に近き卒業生を出した一事を以つても知ることが出來やう。

▼料理は、日本料理、西洋料理、支那料理に亘り、和洋菓子、酒の肴まで、料理の一切を網羅してある。

▼其特色は、材料道具を手近の物で間に合せ、即座に實生活に活用せしめんとする所にある。

▼今や新學期開始、正月料理を目前に控へ、入會には好機です。

▼入會は簡單で、ハガキに『講義録送れ』と書いて申込めば、直ぐ會員へ加へ、毎月一冊宛講義録を送り、會費は四ケ月分宛郵便局から集金に行くので、何の手數もない。

▼正月號一冊でも直ぐ役に立つ『正月號』だけ入用の方は金六拾錢(郵券代用二割增)送られよ

▼内容見本は無代進呈

新學期開始　會員大募集中

東京制烹講習會　東京市牛込區袋町二五　電話牛込(34)五〇五五番　振替東京七九七〇番

胃腸病新藥　カーボニン　ARBONIN　腸傳染病の豫防と食中毒に　腸内病原菌を吸收排除し止瀉整腸を迅速ならしむる　原因療法劑　見本文獻贈呈　[illegible]和光堂

清酒の精華　鮮産第一　最高品　釜山・馬山　カンボクン　原田吟釀

蔘精は專賣局製の官製人蔘エキスですから、お貰ひ遊ばした方も信用され安心して召上ります。御兩親や御兄弟にお贈りになつて御様な丈夫にして上げて下さい。風味香り、効き目、冬の强壯劑として是れ以上のものはございません。お値段も手頃で一函一圓五〇錢半ヶ月分御下命に依り美しい朝鮮模様の化粧箱に御入れしてお送り致します。

朝鮮から内地へ 年末年始の贈り物　朝鮮總督府專賣局蔘精

總元賣捌所　貴生堂　京城本町二丁目　電本一三一八　振替京七一六一

病後靜養中年末年始欠禮致候　藤井寛太郎

謹告　此度皆様の御薦めによりまして左記に開業いたしました。諸設備と味覺は必ず皆様の御意に召す事を信じ京城一の自信を持つて居ります何卒御光臨に御希ひいたします　廿九日から開業　すき燒專門　南山町三丁目(至誠の前)　濱吉　電本四〇三七番

巡査　日本警務學會

鑛業手續 製圖測量 調査　大瀬鑛務所　京城府永樂町一ノ四六(專賣局前)　大瀬丈太郎　電話本局四一二番

最高級白葡萄酒 贈答品の王者 滋養品の覇者　トミポートワイン

煙突不要で御座敷用 ガソリンストーブ　京城本町三　電本四三八〇番　三加美商店

ピアノ・オルガン・山葉　山口樂器店　京城本町　電話本局三二三五三・振替京城五二一一五

今評判の 春駒　賀春　京城驛前 初賣出し 一人前七品付 一圓廿五錢

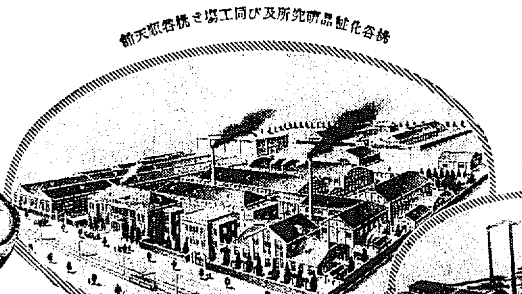
皮膚 泌尿器 性病 診療　海皮徽科　本町四丁目二十二番地　電話本局一九四五番

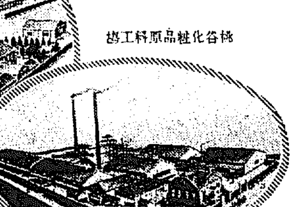
京日案内　恩給 信用ある店を御選び下さい　重詰 正月お重詰御用命に應じます 花月食堂　女給 年十七歳より二十二歳まで 黄金町二　恩給 京城府古市町三五番地　金融 京城御成町五三 永田　ほね つぎ　恩給 京城竹添町　特別案内　東京放送局一等當選 ナショナル三球受信器 日本放送協會推賞 シャープダイン受信器 京城本町四 京城ラヂオ商會 電本四二四六

美顔

▲品よく附きのよい　美顔白粉
▲頸化粧を活かす…　美顔おしろい下
▲清新なお化粧に…　白色美顔水
▲色の白くない方に　肌色美顔水
▲健康色の水白粉…　淡紅色美顔水
▲顔色を美しくする　美顔ユーマー
▲荒を止め美を增す　美顔クリーム
▲お顔の爲一番よい　美顔洗粉
▲素顔の美を養ふ…　化粧用美顔水
▲ニキビ治すに……　にきびとり美顔水

桃谷化粧品研究所及び同工場と桃谷順天館





桃谷化粧品原料工場

美顔化粧品本舗
株式會社　桃谷順天館
大阪港區元町五丁目　◆　東京日本橋區本町四丁目

節婦實傳 維新俠艷錄 (143)

福爪彦七氏作　竹内錦古氏畫

出師（十九）

女とすれば尤者ではない。

眞夜中らしい今頃、然も船に居ながら？ そして馴れ／＼しく閉へ、閉先へ手を……

途端に、きつい髪の匂ひ。

つねならば、鬼頭源三郎たるではおかない。

『何をする！』

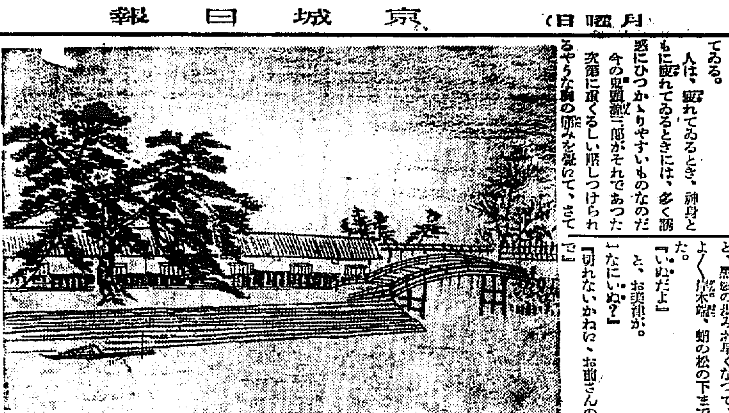
と、一聲、すぐに撥をかはすところだが、今は、その眠氣の鑑が利かない。

それはかりか、この魅惑的な女の肌の温もりや、陶醉してくるやうな艶つぽい女の息が、自然に源三郎の氣持をとろけさせてしまつてゐる。

人は、疲れてゐるとき、神身ともに疲れてゐるときには、多く誘惑にひつかゝりやすいものなのだ。

今の鬼頭源三郎がそれであつた。

次第に頭くるしい限しつけられるやうな胸の痛みを覺えて、さて



これが……

所謂、性の魅惑といふやつ。

それから先は胸部と腹部と唇部との間に刺眼が細つて、臓腑の臓までとろけるやうな氣持に浸つてから。

『お美津は……』

うめくやうな聲が、源三郎の口から洩れた。

女は少し顔を放めて、亂れた髪の毛を掻きあげながら、微笑のやうに口をほころばせた。

『惚れちや、離さずよ』

『惚れたらば、何といたす』

『まゝよとりついてやるまでのことさ』

江戸でいふ新吉原のお美津、その頃女盛として地間では名たり山のさく娘御に、鬼頭源三郎、到頭まいなはれてしまつたのだつた。

『然し妙なところに鼻頭つたもの』

源三郎は、背をはねて暗夜を空を見上げた。

旦通、此の店は宗島川の南の岸久留米藩邸の岸木端に、亭々として

て一際おく夜目にもくろ／＼と鶏にて見ゆる老松の下だ。

老松相を蜒々と水に臨ませていながら蛸の踊る様子。人呼んで『蛸の松』或ひは鳥越のそれが鵜の伏した姿に似てゐるので、『鵜形の松』と名所圖繪にまで記された雑説の名木の木の下蔭だ。

なりから川下の玉江橋の方から黑く、ボタンと人影が浮いて、次第にこちらへ動いてくる様子。

『お美津、お美津』

『なにさ、源三郎さん？』

『お前にはあれがどう見える？』

『さあ……』

云つてゐる間に、タタタタ……と、黒影の歩みが早くなつて、いよ／＼岸木端、蛸の松の下まで來た。

『いぬだよ』

と、お美津が。

『なにいぬ？』

『切れないかね、お前さんの刀

『隠れるやうな撫氣……』

『見たいかお美津』

『あざやかな。水もたまらず……』

といふとこスをね』

『よし、見ておれよ』

スツクと立つたまなざし鋭く、低に人お打つた儘。ヒラリと岸木端に飛び移つた。

水現れにうつる月の彩を浴びて源三郎の酷が黒い人影に近寄つてゆく。

『誰ぢや？』

と、鋭く、源三郎の酒ひ。

『ヨッ』

相手が、はつと口を結んで、心の用意、鯉のかまへ――と見る間もおそく。

『エイ！』

源三郎の鑑が鳴つた。

西原 産婦人科 院　漢江通二　電龍一〇三五

出版界

今日の新刊

ラヂオ JODK 廿八日（月曜日）

午前一〇時三〇分　氣象概況、各天氣豫報　仁川觀測所發表

同一〇時四〇分　料理獻立「簡單な正月の重詰料理」（二）　第二高女鄭浩宜

日用品値段　京城府廳發表

正午　時報、ニュース

午後零時二〇分　琵琶『鴨川の露』　佐川旭葉

同一時〇分　伽倻琴散調と並唱　一、散調　二、短歌　三、鳥打鈴　四、春香歌　金雲仙

同二時一五分　家庭講座「一月の行事」　濱口良光

同三時四五分　ニュース

同五時四五分　ラヂオ體操、職業紹介事項、今晩のプログラム發表

同六時〇分　子供の時間（上）お話『赤い電線の話』テキスト七ページ　竹ノ内章

同六時三〇分　西道雜歌　一、愁心歌　二、卅の歌　三、雜遊歌　四、巫女歌　李瑄鳳

同七時〇分　ニュース、翌日のプログラム發表

同七時三〇分　趣味講演　甲申事變の顛末　菊池謙讓

同八時〇分　掛合噺（A）凝摘ひ　大丸民之助　娘家とし松　海老一菊蔵　海老一由之助　海老一鐵直　外に雛子連中

同八時三〇分　放送劇（B）笑ひを忘れた人々（一場漁人作）

（寫眞は右より）掛合噺の新平、與三郎、民之助、とし松、鐵直

同九時三五分　氣象概況、各地天氣豫報、時報　仁川觀測所發表

（寫眞は）曾我の家五郎一座の放送劇の一場面

琵琶　午後〇時二〇分　鴨川の露

佐川　旭葉

佐川さんけ京城に於ける樋會の總師で久しく振りの放送です。

家庭講座　午後二時一五分　一月の行事

濱口　良光

一夜明ければ初春、昭和七年の目出度い初日出を拜するのであります。この月は一年の始まりとして仲々多く三ヶ日の展祇、続

趣味講演　午後七時三〇分　甲申事變の顛末

菊池　謙讓

菊池氏は古くから朝鮮にゐて活躍されたヂャーナリストの大先輩で朝鮮近世史の研究家として知られた方です。此の甲申事變は明治十七年朝鮮京城で起つた事變の事件として近世史上最も興味ある事件で、昌德宮を中心として行はれた日清兩國軍隊の衝突、公平洞郵政局の宴會前後の暗殺、燒打、鐵化、金玉均、朴泳孝等の亡命、日本公使竹添進一郎の退去等當時の混沌たる事變の大陸を皆さんの前に紹介することに致します

映畫・演藝

朝日座　本町五丁目　中島寶蝶一座

東亞俱樂部　剣戟の双龍　血染の伽羅　君戀し　父

喜樂館　演藝案内　興亡新選組

大正館　當り年　出世の猪名川　腹違ひ　戀の花園　血煙やくざ音頭

中央館　傳奇双葉林　青空　お嬢さん

浪花館　明け行く魂　諸藝競演面白會　女雲右衛門　演藝種目

京城演藝館　歳末の御挨拶

京龍館　八荒流騎隊　夜鴉

朝鮮劇場　大久保一本参る　危險大歡迎　舞踊と映畫の夕

出帆

仁川出帆豫定

鮮航同盟會　仁川支部

阿波共同汽船出帆　利通號　長山丸　芝罘、威海衛、大連行

代理店　野口商會

京城日報
昭和六年十二月廿八日（明治卅九年八月十五日第三種郵便物認可）
號外
發行所 京城大平通一丁目 合資會社 京城日報社 光化門局長四百番 振替京城二〇〇
編輯兼發行人 中野藥夫
印刷人 小川三之介

混成一箇旅團を朝鮮から增派

昨日御裁可を仰いで決定

【東京廿七日午後六時十分發至急電報】廿七日陸軍省より關東軍に兵の增加の件を上奏御裁可を仰ぎ午後六時發表された、右に依ると最近滿洲に正規軍兵匪跳梁し速かに遼西方面の兵匪を掃蕩せざれば更に大兵を要すると明白なるを以てこの際朝鮮軍司令部及び混成約一箇旅團を關東軍に增派することになつた

【東京廿七日發電】陸軍では兵匪の暴虐其の度を加へ關東軍現在の兵力では軍本來の目的遂行不可能の狀態に陷つたので廿七日午前十時二宮參謀次長は建川第一部長以下各部長關係課長等と鳩首熟議の結果增兵に一決、取あへず朝鮮部隊を充當することゝなり荒木陸相は閣議の承認を經たので二宮參謀次長は午後六時參謀總長代理として宮中に參內左の如く御裁可を經て發令された

陸軍省發表

最近滿洲における支那正規軍及び兵匪は錦州政權の統制指導の下に漸次其の數を增加せられ其の勢力强大にして戰鬪能力頓に激增し滿鐵本線を脅威し安奉線を破壞して鐵道破壞を敢てし從業員を殺傷するの暴舉を敢てせり、これらの不安の情勢は日を逐ふて熾烈を加ふるに至る狀態ならしむると共に他面速かに遼西方面の匪賊掃蕩を敢行するに非ざれば全滿洲の治安は困難を加へるは明かなり依つて今に於て鐵道の守備を確實にし朝鮮軍より師團司令部及び混成約一ヶ旅團を一時關東軍に增加せらるゝことゝなり本日午後六時上奏御裁可の上發令せられたり

我軍田庄臺へ進擊開始

【營口廿七日發電】營口に待機中の天野〇〇旅團司令部坪井步兵〇〇聯隊、濱田步兵〇〇聯隊、平田步兵〇〇聯隊、若松騎兵〇〇聯隊、河村野砲〇聯隊、神部〇大隊〇〇自動車隊約〇〇〇名は今曉四時營口發田庄臺附近の大兵匪團討伐の爲め同地に向け進軍を開始した

錦州軍盤山方面に前進中

【奉天廿七日發電】張學良の日本軍撤兵作戰命令發せられ錦州軍は今朝來畳各所に結集を開始し右翼盤山方面に向け續々兵力集結中で盤山の先鋒部隊は既に田庄台の我軍包圍の隊形を以て攻勢態度を採るに至り同方面の衝突は刻々迫りつゝある一方打通線より南下せる第三旅騎兵隊に一部隊を以て盤山方面に移し一部隊は新民府北方方面より新民府を一擧に占領の作戰をたて續々前進中である

敵の裝甲車を破壞

高射砲で我飛行機を射擊す

【奉天廿七日發電】今曉盤山の匪賊は裝甲列車の南進と呼應して田庄臺の我軍に向つて進擊を開始し來れりとの報に我〇〇機〇臺は八時〇〇〇發これが偵察に向ひたるに敵は高射砲を以つてわが〇〇機を射擊したゝめ我〇〇機は直ちに應戰し敵の裝甲車一輛を破壞した

軍事行動に關し

帝國の第三次聲明

廿七日外務省より發表

【東京電報】錦州方面に於ける我が軍事行動並びに滿洲事態に關する政府の立場を中外に宣明する帝國政府の第三次聲明は廿七日午後三時外務省より大要左の如く發表された

一、滿洲における治安の維持は帝國政府の常に最も重要視する所にして政府に於ては從來各種の機會に同地方の事態を保持し且つ之が軍閥擾亂の巷と化するを防がむが爲め百方適法の手段を講じ來たれり

二、錦州方面における第三國武官中支那側にて何等攻擊の準備を爲しをる證左なしとの報告を爲しをる者あるも錦州軍權が打虎山以西北寧線上及び其の附近の各地に巨大なる兵力を擁しをるは明かにして我軍の偵察に依れば是等軍隊が錦州其他に着々兵備を整へをる證跡顯著なるものあるのみならず其の前衛部隊を錦州より遙かに東方にある田庄台、台安、白旗堡等遼河右岸の各地に配置しをること確實なり、右軍隊が滿鐵沿線其他樞地に分散駐屯せる我滿洲部隊に對する不斷の脅威たるは何人も首肯し得べく殊に北寧線を利用するに於ては打虎山溝幇子間、及び溝幇子河北間は僅々三四時間內に到着し得べき近距離にあるの事實は該脅威の甚大なるを示すものなり一方前記馬賊等は近時錦州軍多數將卒の改編せられたるものを含み其の活動の規模急速に增大しをり馬賊等不逞分子の跳梁に對し我軍討伐を行へば賊は逸早く遼西に逃入し我軍を奔命に疲らしむるものあり而して我軍之を追跡せざりしは錦州正規軍との衝突を避けんが爲めなり

三、然るに偶々十一月廿四日頃錦州外交部長より在支列國公使に支那側は山海關以西に撤退するの用意ある旨告げたり、依つて帝國政府は主義上贊成すると共に帝國公使及び北平の帝國代表者をして顧部長及び學良に其の話合ひを進めんとせるも顧部長は途中より申出を翻したり又學良は十二月七日に自發的撤退を爲すべしと言明せるも之を實行せず却つて同方面の兵備を嚴にしをるとの實情なり

四、錦州地方撤兵問題に關する交涉開始せられたる以來既に約一ヶ月に及べるも支那側の不誠意なる態度に依り何等の效果を擧げ得べき前途の見透つかざる間に前記の如く匪賊團の活躍益々猖獗を極め來り遂には南滿洲における全般的治安の根底的破綻を招來するの恐れある事態を現出せるに依り最近我軍は已むに出動して從來より比較的大規模の匪賊討伐に着手するの已むを得ざるに至れるところ我軍に於て匪賊討伐の徹底を期せんが爲めにはその根據地たる遼西方面に進出せざるを得ざること前述の事情に徵し明かなりもとより我軍は九月三十日および十二月十日理事會決議の趣旨に反し好んで支那正規兵に對し攻擊を加ふるが如き主動的措置に出で居るものにあらざることは勿論なるも他面匪賊等の討伐に至りては滿蒙現下の特殊狀況に顧み日本軍に於て引續き之を行はざるを得ざるところにして右は十二月十日理事會決議採擇の際我代表に於て明確に保留せる點なり

五、帝國政府は聯盟規約、不戰條約其他各種條約及今次事件に關する理事會兩決議の精神を忠實に遵守せしむることを期するものにして錦州軍權の根本的治安攪亂に對する日本國民の焦慮甚だしきものありたるに拘はらず數ヶ月の長きに亙り帝國軍に於て該方面に對する匪賊討伐の自由を抑制し共同政府に於て凡ゆる手段を盡し右討伐實行の際衝突することあるべき日支兩軍の衝突を豫防するに努めたる誠心誠意と隱忍自重とは全く前記聯盟規約及決議に基く義務に忠實ならむとする精神に出でたるものなること必ずや世界輿論の認識を得べきを信ず

總督府特別會計

歲入歲出豫算

豫算閣議で決定

【東京廿七日發電通】廿七日の豫算閣議において決定された昭和七年度豫算大綱中朝鮮總督府特別會計歲入歲出豫算左の如し

歲入經常部	一七八、五六四、九四三圓
同 臨時部	一九、九九一、五六四
公債金	二四、九四〇、二〇三
補充金	一三、九七三、九一四
前年度剰餘金繰入額	一、三〇五、四八八
其他	七七一、九六〇
合計	二〇八、五五六、五〇七
歲出經常部	一六三、五三三、一六一
同 臨時部	四五、〇二三、三四六
合計	二〇八、五五六、五〇七

多門將軍營口着

【營口廿七日發電】多門師團長は上野參謀長以下幕僚を從へ午後一時四十五分着營した

〇〇隊司令部領事館に移す

【新民府廿七日發電】遼西匪賊討伐の目的を以て〇〇隊司令部は一兩日中に領事館に移さるべく各般の設備を急いでゐる

姬路部隊砲兵愈よ出動

【奉天廿七日發電】昨夕奉天に到着した姬路部隊の砲兵は本日午後二時半奉天發南下し〇〇方面に出動した

北寧線一帶に陣地構築

【新民府廿七日發電】白旗堡の支那軍は今朝來北寧線附近一帶に嚴固なる陣地を構築した

裏につゞく

在滿邦人保護のため
錦州軍討滅の外なし
關東軍聲明書を發す

【奉天廿七日發電】昨今滿州各地に出沒する兵匪、義勇軍、別働隊は何れも錦州軍權の指揮命令する事明瞭で奉天省の治安維持、在滿邦人の生命財産保護には兵匪の巨魁錦州軍權を討滅する意外途なしと關東軍當局は言明した

安奉線林家台で
我軍、兵匪と激戰
敵兵潰走、我軍追擊中

【奉天廿七日發電】林家臺附近の鐵道、電線を破壞せんとした兵匪一五〇名は我守備隊と激戰一時間に及んだが後續部隊來たらぬ爲め形勢不利と見て西方山中に逃走我軍目下追擊中

待機中の飛機
全部移動を終る

【大連廿七日發電】奉天にあつて待機中の飛行機〇〇臺は今朝來〇〇に全部移動を終つた

學良邊防公處に命令

【奉天廿七日發電】學良は廿三日錦州邊防公處に對し左の命令を發した

一、溝幇子は左、中、右三路の三中心地なれば飽くまで死守すべし

二、打虎山は溝幇子錦州の門戸たるを以て茲に一同集結し時に應じ增援す

三、日本軍は右翼へ兵力を增援したるを以て我軍は努めて盤山を保持し機を見て敵の左翼を迂回し攻擊すべし

四、現在派部隊は錦州北平間の鐵道警備に任ずべし

三百の決死隊
陣地につく
兵器彈藥も大輸送

【奉天廿六日發電】錦州方面より來れる土民の言によれば北平司令部學生等の編成せる決死隊三百名は十七日大凌河の陣地に到着、彼等は手榴彈多數を持し勢あたる可からざるものがある、又數日前北平より來た有力な支那人の言によれば學良は[illegible]北平より十七列車の兵器彈藥を錦州に輸送したと

敵の旅長
討伐に憤慨

【天津廿五日發電】舊第十五旅長及び舊第十九旅長は日本軍の遼西[illegible]に憤慨し、若し日本軍が錦州方面に進出する場合は張學良の意思如何に拘らず錦州軍と呼應して直ちに天津日本租界を攻略しこれを回收して條兵を關外に向け日本軍に當ると强がりを言つてゐる而して楊柳青にゐた第廿九旅は潮隊に廿五日より移動を開始した

理事會の
干涉要求
外交特別委員會が訓電を發す

【南京二十六日發電】外交特別委員會は昨夜深更まで協議の結果、今朝ゼネヴァの聯盟支那代表部に對し訓電を發し日本軍の錦州攻擊はいよいよ切迫した故速かに理事會の干涉を要求するやう命じた

錦州方面
愈よ緊張
挑戰露骨

【奉天廿五日發電】錦州軍主力の第一線は依然溝幇子に置かれ更に錦州より第十二旅及び步兵十三團の一部を大凌河の本陣に配置し、第十九旅の司令部は溝幇子に置かれ一兩日來錦州より武器彈藥が續々として同地に送られてゐる、更に打虎山一帶には廿三日來堅固な陣地が構築され打通線にあつた騎兵第三旅の一部が集結され、同地にあつた正規兵の一部は匪賊一千と共に白旗堡に輸送され、同方面別働隊は東南に迂回して我新民部隊の後方を盛んに攪亂して挑戰的態度いよいよ露骨となつた

奉天回復を
學良に電命
全體會議より

【南京廿六日發電】全體會議は昨日對日策を決定し直ちに學良に電命したが右は飽迄武力を以て積極的に日本に對抗し錦州を死守するのみならず奉天を回復せよと云ふにある

北支增援隊
天津に到着

【天津廿六日發電】第〇師團から派遣された步兵〇〇隊と輜重隊を含む北支增援隊搭載御用船〇〇艘は廿六日午前三時塘沽に入港午前十一時軍用列車で同地發正午天津に到着、日本租界に分宿した

本號外は本紙に再錄にせず

京城日報
昭和六年十二月廿八日（明治卅九年八月十日第三種郵便物認可）
第二號外
發行所 京城太平通一丁目
合資會社 京城日報社
光化門局私書函四百番
振替京城三〇〇
編輯兼發行人 中野繁夫
印刷人 小川三之介

龍山出動部隊
先發隊は今朝發
師團長等は午前九時五分
殘餘部隊は午後四時廿分

廿八日午前一時五十五分朝鮮軍司令部發表＝第〇〇師團司令部の出發時刻左の如し
師團長室中將及び師團司令部主力の大部は廿八日午前九時五分京城驛發殘餘の師團司令部一部は同日午後四時二十分龍山驛發北行する

うんと働いて—
國民の總意に副はう
室師團長決意を語る

出動命令の報を齎して第二十師團長室兼次中將を訪へば莞爾として語る
突然の出動命令に驚いてゐる、併し命令に依ると滿洲の形勢は非常に切迫してゐる模樣であるから取敢へず自分は幕僚と共に今朝出發する豫定である、彼の地へ行けば勿論うんと働いて國民の總意に副ふやう努力する覺悟だ云々

張學良錦州軍に
撤退命令の説？
日本軍の鼻息が荒いと

【北平廿七日發電】學良は南京政府より錦州死守の嚴命に接したが日本側が英米佛三國の警告などを意に介せず斷乎既定方針に向つて邁進するを知り、首腦部會議の結果于學沖、榮臻等の主戰論者を退け張作相の意見に從ひ戰つて潰滅するより不面目を忍んで實力を保全するに如かずと爲し、一昨夜我が矢野參事官に對し錦州軍を自發的に撤退せしめることを言明し同時に錦州軍に撤退命令を發した

我軍一笑に附す

【天津廿七日發電】錦州軍の自發的撤退説に付き駐屯軍首腦部は食言常習犯の學良の約束など信頼出來ぬ、形勢切迫したので撤兵問題で攻撃を中止させ、其の間設備を充實せんとするペテン手段と對外宣傳の口實に過ぎぬと爲し益々軍備を嚴にしてゐる